

令和 6 年 1 月 22 日

総 務 部

「放射線被ばくと健康影響」講演会を開催します

概要

福島第一原子力発電所の事故から今年で13年を迎えます。福島県で放射線による健康影響調査を続ける講師を招いて、放射線影響への正しい理解と被災地の現状について学びます。

1 日時

2月22日（木） 15時～16時30分

2 会場

唐津市健康サポートセンター「さんて」大会議室
(唐津市二夕子1丁目5番1号)

3 講演者

長崎大学原爆後障害医療研究所教授 たかむら のぼる 高村 昇 氏

チェルノブイリ原発事故での健康影響調査や福島での健康影響評価を研究テーマとし、現在は福島県放射線健康リスク管理アドバイザーや「東日本大震災・原子力災害伝承館」の館長を務めるなど、福島の復興に尽力する。

(本件の問い合わせ先)

総務部 危機管理防災課

担当：小宮、中江、香月

電話：直通 72-9260 (内線 1432)

放射線被ばくと健康影響 ～福島と共に挑む復興への歩み～

参加無料 定員80人

福島第一原発事故から今年で13年。私たちはあの事故の影響を正しく理解したうえで、福島を想うことができているのでしょうか。

福島県で放射線による健康影響調査を続ける長崎大学の高村教授をお招きして、放射線影響に係る正しい理解と福島の復興に向けた歩みについて学びます。

開催日

令和6年2月22日(木)

午後3時から午後4時30分まで(受付開始 午後2時30分から)

会場

唐津市健康サポートセンター「さんて」大会議室

唐津市ニ夕子1丁目5番1号

申込方法

【申込方法】

参加申込書に必要事項を記入し、FAX、メールまたは窓口にてお申し込みください

【申込期限】

令和6年2月9日(金)

※定員に達し次第、申し込みを締め切ります

講師

高村 昇 (たかむら のぼる)

長崎大学原爆後障害医療研究所 教授
東日本大震災・原子力災害伝承館 館長

チヨルノービリ原発事故における健康影響調査や福島における健康影響評価を研究テーマとし、現在は福島県放射線健康リスク管理アドバイザーや「東日本大震災・原子力災害伝承館」の館長を務めるなど、福島の復興に尽力する。



送付先 ⇒ 唐津市 危機管理防災課

FAX : 0955-72-9170 メール : bousai@city.karatsu.lg.jp

『放射線被ばくと健康影響～福島と共に挑む復興への歩み～』

参加申込書

| | |
|--------------------|--|
| (ふりがな) | |
| お名前 | |
| ご住所 | |
| 団体名 ※1 | |
| 電話番号 ※2 | |
| 講師への 事前質問 ※3 | |

◆申込書に記載された個人情報は、本講演会の参加受付以外には使用しません

- ※1 自治会や学校等、属する団体がある方のみご記入ください。
- ※2 日中でも連絡のとれる電話番号をご記入ください。
- ※3 時間の都合や質問内容によっては、全ての質問・要望にお答えできない可能性もあります。あらかじめご了承ください。

【問い合わせ・申し込み先】

唐津市 危機管理防災課

TEL 72-9260 FAX 72-9170

メール bousai@city.karatsu.lg.jp